

# 第39回 全日本少年サッカー大会 東京都大会 11ブロック予選

1. 参加資格 2015年度リハウスリーグに参加し年間を通じた成績により参加できる資格を有すること。
2. 競技方法
  - (1) 引率指導者3名以内(ベンチには2名以上3名以内)であること。
  - (2) 引率指導者は「参加チーム」を指導する責任ある成人の指導者が含まれること。  
また内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有することが望ましい。
  - (3) 各チームは審判員として有資格審判員1名を帯同していること(ベスト8以降はブロック側で用意)。
  - (4) 審判員は指導者を兼務する事が出来るが審判員を優先すること。
3. 競技規則
  - (1) 8人制の競技とする。
  - (2) 2015年年度(公財)日本サッカー協会規則および「8人制サッカールール」による。  
但し、東京都少年サッカー連盟が定めた事項が優先される。
    - ・キックオフから直接得点することはできない。
    - キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合には相手チームのゴールキックで再開する。
  - (2) 競技フィールド
    - ※68mx50mを基本とする。「交代ゾーンは中央から両側に3m」その他は少年用とする。
  - (3) 登録人数
    - ※試合ごとに何人でも登録できる(中央大会では試合の都度16名まで)。
  - (4) 競技者の数
    - ※8人(内1人はゴールキーパー)試合開始時8人が必要である。
    - ※怪我人、退場者で競技者が欠けた場合には即ち補充し常に8人で競技を続けること。  
⇒プレーが停止したときに8人に戻すための手続きをする。
    - ※試合開始時に8人そろわない場合は不戦敗とする。
    - ※引率者数が不足した場合も同様な対応となる。なお、次の試合の審判の準備のためにベンチを外れることは認められる。
  - (5) 競技者の交代
    - ※自由な交代を適用する、一度退いた競技者も再び交代要員になれる。
    - 但し、交代は交代ゾーンを使用し、主審に通知することなく交代できる。
    - ゴールキーパーの交代は主審に通知し試合の停止中に交代する事ができる。
  - (6) 懲戒罰の累積
    - ※競技者が本トーナメントを通じ、合計2枚の警告をうけた場合、もしくは退場を命じられた場合、当該競技者は次の1試合に参加できない。
  - (7) ボールは両チーム持ち寄りとする。4号球で空気圧は0.8気圧とする。
  - (8) 試合時間は30分とする(前後半15分、インターバル5分…前半終了後5分後に後半開始)
  - (9) 引き分けの場合はPK戦とする(3人)。決着しない場合はサドンデス方式とする。
  - (10) 決勝、3位決定戦のみ同点の場合は5分ハーフの延長戦を行う。
  - (11) 退場処分があった場合には、競技者の補充を行うが、次のプレーの再開は、プレーの停止のもととなった再開方法にて行う。
  - (12) 飲水タイムをとる場合は、主審が事前に両チームにアナウンスをすることが望ましい。なお、飲水タイムを取得する場合は、本大会においてはランニングタイムとする。
4. 運営について 本大会に参加するチームの責任者は、登録選手証(写真貼付されたもの)持参し、試合開始予定の30分前までに本部によるチェックをうけること。
  - 選手証は、再発行手続きがなされない為、選手証の紛失や選手情報の修正の場合に限り、K I C K O F F上から写真をつけてダウンロードしたものをみせることで参加を可とする。
  - ※不携帯の競技者は当該試合への出場を認めない(申請書、コピー、カラーコピーは認めない。)選手証のみとする。
  - ※メンバー表と選手証を突き合わせてチェックを行うまでにとどめることとする(選手に生年月日などを言わせることはしない)。
5. その他 ユニフォームについて
  - \* 2015年度「日本サッカー競技規則及びユニフォーム規定」に準ずる。
  - \* ハンドブック「中央大会参加・お願い」を参照のこと。
  - \* ユニフォームチェックは試合開始30分前までに済ませること。
  - \* 選手は試合開始10分前に指定集合場所でチェックを受けること
  - \* FP、GKともに正副のユニフォームを持参すること。